

● 目次

- 2 ひととヒト (花みずきの会)
- 3 平成 23 年 七尾市成人式
- 6 能登和倉万葉の里マラソン 2011
- 8 七色の旅
～七尾市観光情報かわら版～
- 9 家族あいさつ ～絆～
- 10 情報ランド (お知らせ)
- 16 みんなの本棚/児童館へ行こう
- 17 イベント情報
- 18 広がれ! 市民の和
- 20 市民相談
- 21 休日医療情報/不用品活用銀行
- 22 まちの顔
- 24 平成 23 年度能登演劇堂公演/
わが家のアイドル

● 今月の表紙

平成 23 年七尾市成人式が 1 月 9 日に七尾サンライフプラザで行われた。式典に続いて行われた記念行事は、新成人で構成された成人式実行委員会が企画したもの。自分たちの手で企画・運営する成人式は、毎年思い出深いものとなっている。

成人式を終えたからといって大人になったわけではなく、20 歳になる前から社会人として働く人もいれば、20 歳を超えても学生として社会に出る準備をしている人もいます。それぞれがそれぞれの思いで迎えた晴れの舞台。家族・友達・恩師などの大切さを改めて考え直す一日となったのではないだろうか。

ひと

ヒト

『あるもの生かし』で
まちに元気を!

花みずきの会



花みずきの会のメンバー5人。後列向かって右側が世話人の大黒久美子さん

時のよそほひ ～子供・節句～

3月1日(火)～10日(木) 場所:中島商店街

交通が発達する以前の中島商店街は、能登の陸路と海路が交わる交通の要衝として栄え、大正・昭和初期には活気に満ちていた。しかし、今ではその面影も少なく、買い物客の姿もまばら。周辺には能登演劇堂があり、秋にはお熊甲祭、冬には特産の能登かきと、豊富な資源がそろっているながら、それをどう生かしているかが大きな課題となっている。そんな中で「このまちを何とかしたい」と商店街の女性商店主たちが立ち上がった。

お金をかけて新たなものを作るのではなく、今あるものを生かして何ができるか。周りの人たちに聞いてみたところ、家に眠っている古いひな人形、昔使っていた商売道具、床屋の古いポスターなど昭和の香りがするものの情報が次々と集まってきた。「これだ!」。

平成 19 年にはじまった『時のよそほひ』は、途中開催できなかった年があるものの、今回で 4 回目を数える。商店だけでなく一般家庭の協力も得られ、今回は約 20 件の展示場所が設けられる。商店主の『語り』が聞ける場所もあり、お茶を飲みながらの会話にも花が咲く。「他の地域から来る方には新鮮に映るよう、話をしているうちに自分たちが気付かないことを教えられます。田舎の良さをきつと感じてもらえらると思います。私たちと一緒に昔話を楽しませんか」と世話人の大黒久美さんは話す。

寒さも和らぐ 3 月。昭和の香りが残る中島商店街を歩いてみてはいかがでしょう。

● 花みずきの会

世話人 大黒 久美子さん

☎ 66-0072

家族のみんな
友達・先生・私の人生でかかわった人たち
みんな、みんな本当に

ありがとう

「ありがとうの手紙」より

平成23年

七尾市成人式